

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年2月6日 (2014.2.6)

【公開番号】特開2012-173973(P2012-173973A)
 【公開日】平成24年9月10日 (2012.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報2012-036
 【出願番号】特願2011-35162(P2011-35162)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 7/10 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 7/10 V

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月12日 (2013.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 2】

1 キャラクタの全幅は 1 1 モジュールから構成される。この例で、黒部分のバー (1) は 4 モジュールから成り、バー (3) 及びバー (5) は各々 1 モジュールから成る。白部分のスペース (2) は 1 モジュールから成り、スペース (4) 及び (6) は各々 2 モジュールから成る。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 9 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 9 4】

続いて、図 7 ~ 図 1 0 を参照して、第 2 の実施例に係るデコード例について説明する。ここで、図 7 A ~ C を参照して、C O D E 1 2 8 のバーコード記号例、その欠損例及びその再構成例について説明をする。図 7 A に示す C O D E 1 2 8 のバーコード記号 1 は、バーやスペース等の欠落や傷等を生じていないものである。バーコード記号 1 は 8 キャラクタから構成され、例えば、バーコードデータ D 1 2 は、数字の「 1 2 3 4 5 6 7 8 」を表現する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 9 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 9 8】

第 2 の実施例では、図 7 B に示したようにバーやスペース等に欠落や傷等が生じている場合であっても、「 1 2 ? ? 5 6 7 8 」や、「 1 2 ? ? ? ? 7 8 」、「 1 2 3 4 5 6 ? ? 」等を「 1 2 3 4 5 6 7 8 」を表現するバーコードデータ D 1 2 に再構成するようになされる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

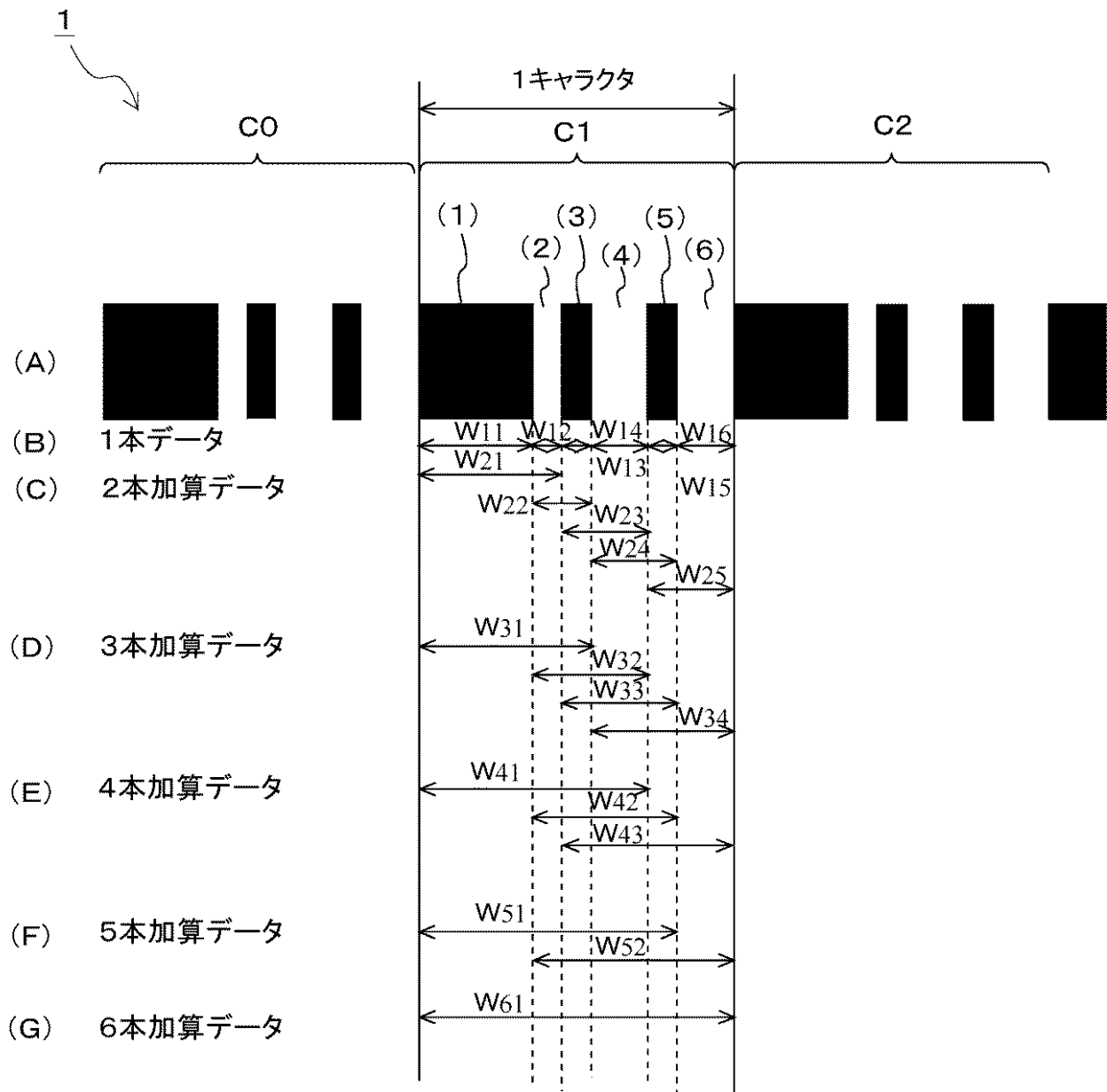
【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

第1の実施例に係る1本、2～6本加算データの算出例



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

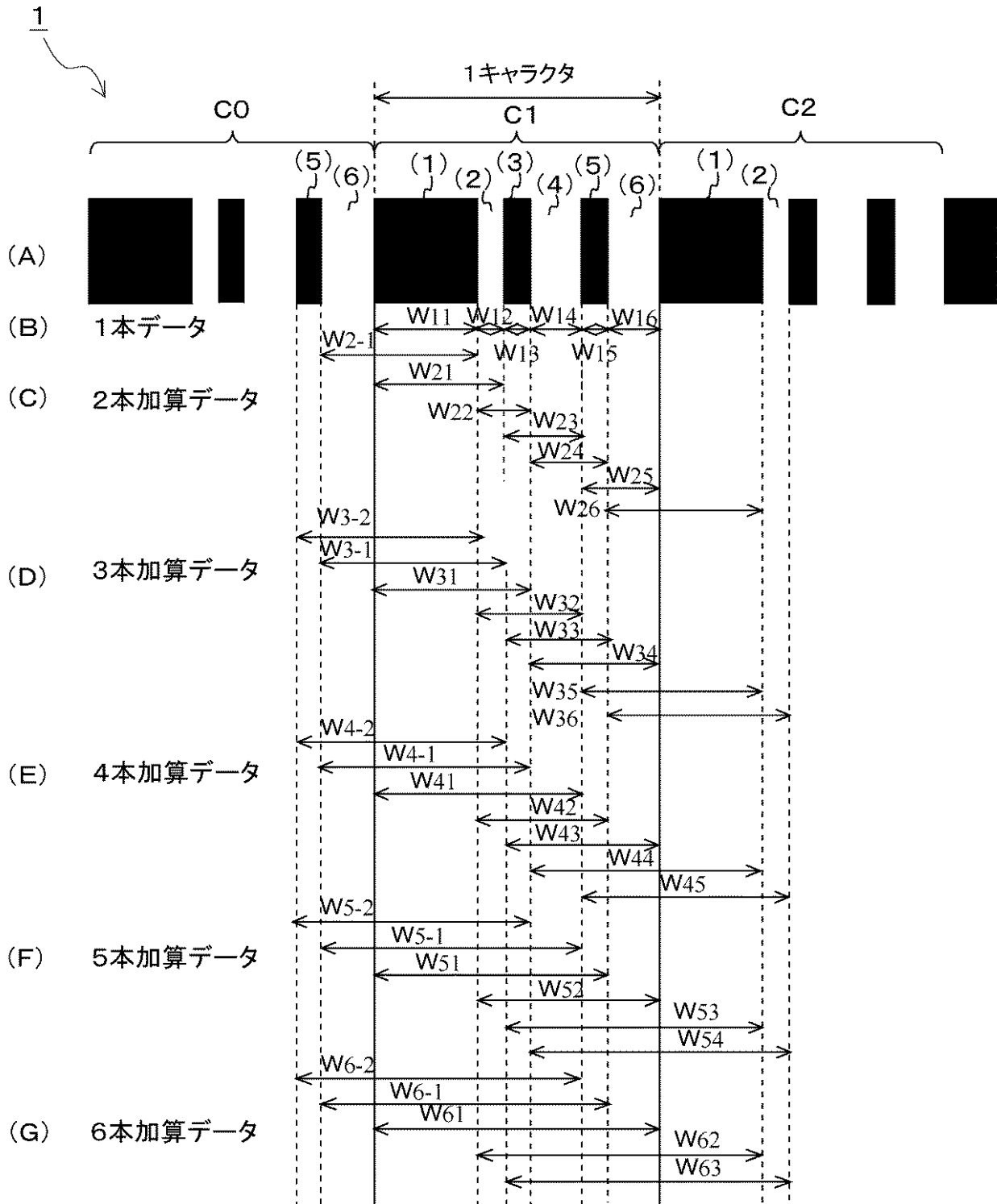
【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】

1本データ、2～6本加算データの他の算出例(その1)



【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

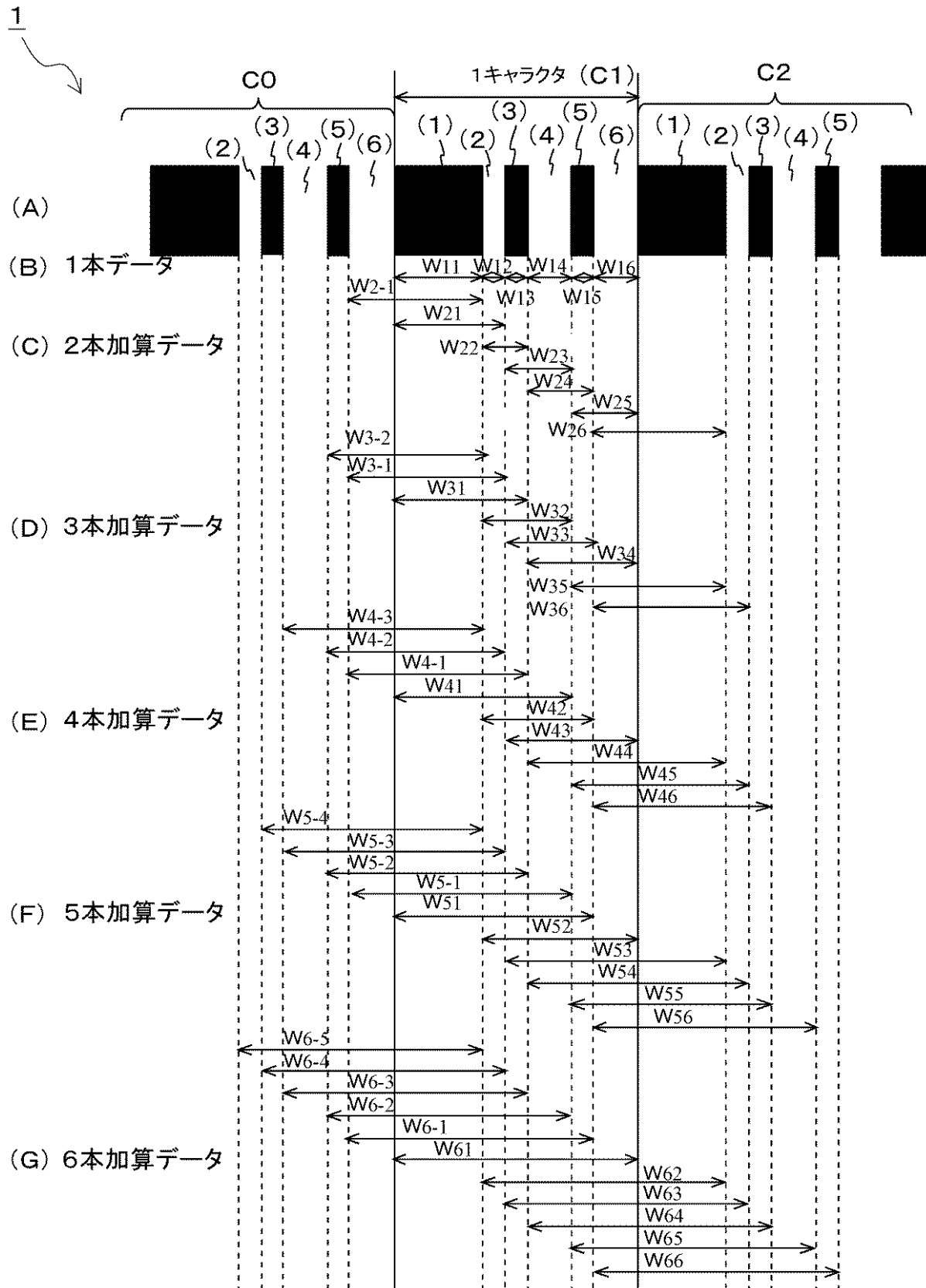
【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

1本データ、2～6本加算データの他の算出例(その2)



【手続補正 7】

【補正対象書類名】図面

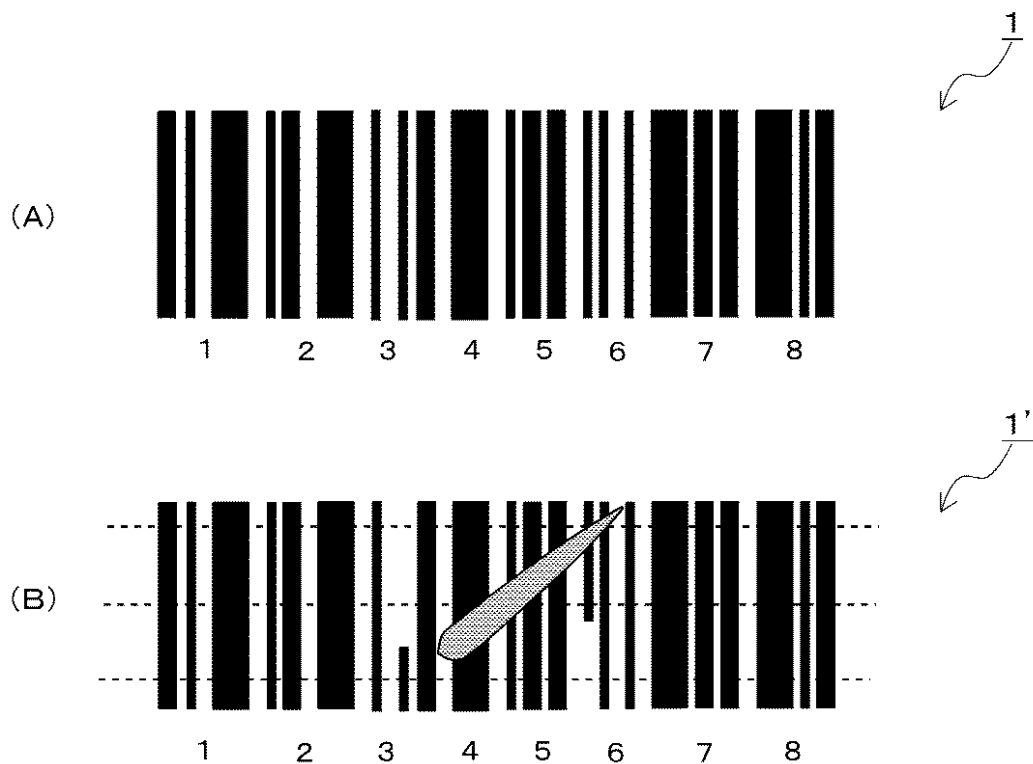
【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

第2の実施例に係るバーコードデータの再生例



1 2 ? ? 5 6 7 8
 (C) 1 2 ? ? ? ? 7 8 ⇒ 再構成 1 2 3 4 5 6 7 8
 1 2 3 4 5 6 ? ?

【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 15】

従来例に係る2本加算データの算出例

